

# 書類提出用 端末要件

2008年3月13日

金融庁 総務企画局 企業開示課

◆Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

◆Microsoft Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または 商標です。

◆Sun、Sun Microsystems、Java は、米国またはその他の国における米国 Sun Microsystems,Inc.の商標または登録商標 です。

Adobe® product screen shots reprinted with permission from Adobe Systems Incorporated.

◆Adobe、Adobe Photoshop、Adobe Illustrator は、Adobe Systems Incorporated の登録商標または商標です。

- ◆その他、記載されている会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。
- ◆本文中では、TM、®、©は省略しています。
- ◆本書に掲載されている内容は、2008年2月現在のもので、予告なく変更される可能性があります。

◆本書は、構成・文章・プログラム・画像・データ等のすべてにおいて、著作権法上の保護を受けています。本書の一部 あるいは全部について、いかなる方法においても複写・複製等、著作権法上で規定された権利を侵害する行為を行うこと は禁じられています。

1

1 操作環境について

2	事前準	備 2	2
	2-1	システム使用時の操作環境	2
	2-2	証明書の設定	3
	2-3	信頼済みサイトの設定	5
	2-4	JRE の設定	3
	2–5	電子メールの設定	1
3	電子署	名 12	2
	3-1	電子証明書について····································	2
		3-1-1 電子署名機能のインストール	3
	3–2	公的個人認証サービス·······14	4
		3-2-1 事前準備	4
		3-2-2 利用者クライアントソフトのダウンロード	5
		3-2-3 公的個人認証証明書登録ツールのダウンロード	5
		3-2-4 証明書の設定-ICカードリーダの設定	6
		3-2-5 証明書の設定-証明書の確認	7
		3-2-6 証明書の設定-証明書の登録	9
	3–3	商業登記 ─────2	1
		3-2-1 事前準備21	1
		3-2-2 証明書の登録	1

本書について

本書は、「**開示書類等提出者のホームページ**」を利用するためのコンピュータの事前準 備と必要な設定変更について説明しています。

#### EDINET をご利用いただくために

EDINET で開示書類等を提出するための前提知識として、一般的な Web ブラウザを使用 し、インターネットがご利用いただける方を対象としています。

#### 本書の表記について

本書は以下の環境で作成されています。

クラシック表示に切り替えている場合は、画面の表示が異なります。

OS	Microsoft Windows XP SP2
ソフトウェア	Microsoft Internet Explorer 6.0 SP2
	Sun VM 5.0 Update12(JRE1.5.0_12)
	Adobe Reader 7.0

本マニュアル内に記載されている記号は、以下のような意味があります。

表示	意味	表示	意味
	操作に関連するポイントについ て説明しています。		画面の入力や選択する項目など をさします。
MEMO	知っておいていただきたいことに ついて説明しています。		画面で表示された項目などをさ します。
《重要	重要事項について説明していま す。必ずお読みください。	« »	画面の項目名をさします。 例:《EDINET コード》をクリックします。
[ ]	画面名をさします。 例:[提出者検索画面]が表示されます。	[]]	キーを押す操作をさします。 例:【F5】キーを押します。

#### 製品名の記載について

#### 本書では、次の略称を使用しています。

名称	略称
Windows Vista	Windows Vista または Windows
Windows XP	Windows XP または Windows
Windows Internet Explorer 6	Internet Explorer 6 または Internet Explorer
Windows Internet Explorer 7	Internet Explorer 7 または Internet Explorer
Adobe Reader 6	Adobe Reader 6 または Adobe Reader
Adobe Reader 7	Adobe Reader 7 または Adobe Reader

## 1 操作環境について

開示書類等提出者のホームページを使用する場合の、コン ピュータ環境について説明します。

EDINET は、以下の条件を満たす標準的なパソコンで動作を確認しております。 また、《ソフトウェア》のオペレーティングシステム、Web ブラウザおよび JRE (Java Runtime Environment)の組み合わせは、以下のいずれかの組み合わせで動作を確認しております。

		【1】	[2]
ハ ード ウェア	ディスプレイ解像度	1024×768 以上	1024×768 以上
ソフト	オペレーティングシステム	Windows XP SP2	Windows Vista
ウェア	Web ブラウザ	Internet Explorer	Internet Explorer
		6.0 SP2	7.0
	Sun VM	5.0 Update12	6.0 Update3
		6.0 Update3	

※上記の「2」の組み合わせでEDINETを使用する場合、画面の表示が操作ガイドと一部異なる場合があります。 ※システムを利用するためには、事前に金融庁のホームページから「安全な通信を行うための証明書」 を入手してください。手順は『2 事前準備』(p.2)をご確認ください。

※PDF で提出される書類を確認するために「Adobe Reader」が必要です。

2 事前準備

EDINET を使用する前に、ご利用いただくコンピュータに事前準備が必要です。事前準備の手順について説明します。

## 2-1 システム使用時の操作環境

EDINET に接続する際に、ご利用いただいているコンピュータで、初期の設定から変更 が必要な箇所について説明しています。



## 2-2 証明書の設定

EDINET に接続するためには、事前に金融庁のホームページから「安全な通信を行うための証明書」をダウンロードし、ご利用いただくコンピュータにインポート(設定)を行います。

すでにダウンロード済みの方は、ご利用いただくコンピュータにインポート(設定)されているかどうか、確認してください。証明書の確認手順は金融庁のホームページをご覧 ください。







3

《申請・届出などの手続案内・金融庁認 証局について》をクリックします。



[申請・届出などの手続案内・金融庁認 証局について]が表示されます。

#### 4

《金融庁認証局について》をクリックしま す。

#### 5

以降の操作は、金融庁のホームページ に記載されている操作手順に従ってくだ さい。



## 2-3 信頼済みサイトの設定

Internet Explorer を起動し、「信頼済みサイト」の設定を行います。





**2** メニューバーの《ツール》から《インター ネット オプション》をクリックします。



[**インターネット オプション**]が表示され ます。セキュリティの設定を行いま す。

**3** 《セキュリティ》タブをクリックします。

4 (信頼済みサイト)を選択し、 サイト(S)... (サイト)をクリックしま す。



[信頼済みサイト]が表示されます。

### 5

《次の Web サイトをゾーンに追加する》 に「https://www.edinet-fsa.go.jp/」と入 力します。

#### 6

<u>追加(A)</u>(追加)をクリックしま す。

信頼済みサイト	? 🔀
このゾーンに Web サイトを追加/削除できます。このゾー イトには、このゾーンのセキュリティの設定が適用されます	ンのすべての Web サ 。
)次の Web サイトをゾーン(ご追加する( <u>D</u> ):  https://www.edinet-fsa.go.jp/ Web サイト(W):	
	<u>削除(R)</u>
✓このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:)を必要と	42(2)
OK	キャンセル

### 7

《Web サイト》に URL が追加されたこと を確認します。

**8** OK (OK)をクリックします。

信頼済みサイト ?区
このゾーンに Web サイトを追加/削除できます。このゾーンのすべての Web サ イトには、このゾーンのセキュリティの設定が適用されます。
次の Web サイトをゾーン(に追加する( <u>D</u> ):
道加( <u>A</u> )
Web サイト(W):
https://www.edinet-fsago.jp/ 肖耶余(R)
「このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https)を必要とする(S)
OK キャンセル

[インターネット オプション]に戻りま す。

9 OK (OK)をクリックします。

設定変更ができない場合 ME

MEMO

設定変更ができない場合は、設定変更 を行うことができる権限を付与されてい ない可能性がありますので、自社のシス テム管理者にご相談ください。



## 2-4 JREの設定

EDINET で書類提出を行う場合は、事前に Sun Microsystems 社の「JRE(Java Runtime Environment)」のインストールが必要です。

インストール済みの方は、ご利用いただくコンピュータに設定されているかどうか、確認することができます。詳しくは、『POINT (응 JRE **をインストール済みの方**』(p.9) をご覧ください。

" JRE(Java Runtime Environment)のダウンロードサイト

JRE(Java Runtime Environment)は、下記のサイトからダウンロードできます。

《JRE 1.5.0\_XX をダウンロードする場合》

http://java.sun.com/j2se/1.5.0/ja/download.html 《JRE 1.6.0\_XX をダウンロードする場合》

http://java.sun.com/javase/ja/6/download.html



Java のダウンロードサイトが表示さ れます。

#### 3

《Java Runtime Environment (JRE) 5.0 Update XX 》の右側にある <u>ダウンロード</u>(ダウンロード)をクリック します。

#### 4

以降の操作は、画面の指示に従って操 作を行ってください。

インストールができない場合 MEMO

インストールができない場合は、自社の システム管理者にご相談ください。

### <sup>\*</sup>● JRE をインストール済みの方

JRE をすでにインストール済みの方は、Internet Explorer で JRE のバージョンを確認することができます。 『書類提出用 端末要件』で求められている JRE が設定されていることを確認します。

#### 1

Internet Explorer を起動し、《ツール》 から《インターネット オプション》をクリッ クします。

[**インターネット オプション**] が開きま す。

#### 2

《詳細設定》タブをクリックし、「Java (Sun)」の《〈applet〉に JRE 1.5.0\_XX を使用(再起動が必要)》に,推奨バー ジョンの JRE が設定されており、 ✓ が 付されていることを確認します。









## 2-5 電子メールの設定

EDINET では、機能強化の一つとして開示書類等提出者に迅速な情報提供を図るために 電子メールを送付する機能がありますので、随時確認が可能な電子メールアドレスを開示 書類等提出者ごとに取得してください。なお、EDINET 利用届出時に、電子メールアドレ スの入力が必要になります。



EDINET で書類提出する際に、電子署名を付与して提出する場合の事前準備等について説明します。

## 3-1 電子証明書について

書類提出時に、電子署名を付けて提出する場合は、事前に電子証明書を入手しておく必要があります。

電子証明書は「**政府認証基盤(GPKI: Government Public Key Infrastructure)**」が相 互認証した以下の民間認証局等から発行されている電子証明書等をご利用ください。

《民間認証局の一覧》

認証局(会社名)	サービス名	証明書タイプ	
電子認証登記所	商業登記認証局		
日本認証サービス株式会社	AccreditedSign パブリックサービス2に係		
	る認証局		
日本電子認証株式会社	AOSign サービスに係る認証局	IC カード	
東北インフォメーション・システムズ	TOiNX 電子入札対応認証サービスに係る		
株式会社	認証局		
株式会社帝国データバンク	TDB 電子認証サービス TypeA に係る認	IC カード	
	証局		
セコムトラストシステムズ株式会社	セコムパスポート for G-ID に係る認証局	FD、IC カード	
ジャパンネット株式会社	電子入札コアシステム用電子認証サービ		
	スに係る認証局		
日大帝工今詳正	ビジネス認証サービスタイプ1に係る認証	・IC カード	
口个问上去诫问	- 今晩// - PKCS#12 形式の電		
四国電力株式会社	よんでん電子入札対応認証サービスに係		
白国电力怀式云社	る認証局		

株式会社ミロク情報サービス	MJS 電子証明書サービスに係る認証局	IC カード	
地方公共団体による公的個人認証	地方公共団体による公的個人認証サービ	にカード	
サービススス			
株式会社内雪シーティーマイ	CTI 電子入札·申請届出対応電子認証		
	サービスに係る認証局		
NTT アプリエ	e-Probatio PS2 サービスに係る認証局	IC カード	

### 3-1-1 電子署名機能のインストール

書類提出時に、**署名付き提出**(署名付き提出)をクリックすると、以下の確認メッ セージが表示され、「FormCoordinator」というソフトウェアをインストールする必要が あります。**OK**(OK)をクリックし、画面の指示に従ってインストールをして ください。

Microso	ft Internet Explorer 🛛 🔀
2	[2102] クライアント製品(署名機能)がインストールされていません。 インストールには、管理者権限が必要です。 インストールしますか?
	OK キャンセル

## 3-2 公的個人認証サービス

EDINET で書類提出する際に、公的個人認証サービスより発行された署名を付与して提出する場合の事前準備について説明します。

#### 3-2-1 事前準備

電子証明書で「公的個人認証サービス」を利用する場合は、「利用者クライアントソフト」 と「公的個人認証証明書登録ツール」を入手し、Internet Explorer に証明書内容を設定 する必要があります。

#### 利用者クライアントソフト

公的個人認証サービスを利用して電子申請等を行う場合に、公的個人認証サービ スの電子証明書を使用できるようにするソフトウェアのことです。

#### 公的個人認証証明書登録ツール

電子申請・届出等を行う場合に使用する電子署名として、公的個人認証サービス の電子証明書を利用する場合のクライアントソフトウェアのことで、IC カードに 格納されている証明書(公開鍵)をご使用中のコンピュータへ登録します。

### 3-2-2 利用者クライアントソフトのダウンロード

以下の Web サイトより「利用者クライアントソフト」をダウンロードし、セットアップします。

#### https://www.jpki.go.jp/client/download/index.htm





利用者クライアントソフトのインストール手順は、公的個人認証サービスポータルサイトにある手順に従ってください。

### 3-2-3 公的個人認証証明書登録ツールのダウンロード

EDINET の「開示書類等提出者のホームページ」の「推奨端末仕様」より「公的個人認証 証明書登録ツール」をダウンロードし、セットアップします。

	EDINET - Microsoft Internet Explorer
EDINET Includes for Investory METwork	: ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(D) ヘルフ(H)
EDINET 金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子展示システム	EDINET Electronic Disclosure for Investors' NETwork
<b>端示書類等費出者のホームページ</b>	1// 12/
自サイトをご利用いただく場合は、「安全な通信を行なったのの証明書」を主動行ホームページよりダウンロードし、 ロマネムを見ためします。自宅ではあったりその時代のサインドの情報構成になってき、またのであります。 に見たたち、	推晃轴木讧棣
EDPETICXでの評論は <u>協力がイド</u> のより、FEDPET構築書がおよび多種操作がイドをご確認だされ、	推奨端末仕様
にためにならかのとことを知られるかめなくエージルださかがっているかは、ルイベリンジルです。第二世のアンジオム型部の 出戸時代を行ってください。(使行時間:平日9:00~17:15)日ビにかれてたごを明知の方は専座型時間出を行なう必要は3 またん。	<ul> <li>         - 書類提出用減末要件の     </li> </ul>
● (1001年3月12日に見解されていますのでご確認いださい。	PDF形式の表示
■システムシンテナンスに有当り一ビス一時時点のお知らせ 現在、サービス得上の予定はありません。	Elicer HAMPE     PICF形式の開示書類の問題にはAdobe Readeが必要となります。左のリンク先よりダウンロ     ートしてください。(集社)
÷ 2850	金融庁認証局証明書の取得方法について
<ul> <li>→ 建築業務主法ターム登録</li> <li>→ 電子務主法マタム登録</li> <li>→ 電子務主法マタム登録</li> <li>→ 健士 参拝務官僚・登録</li> <li>★ (ユーザロをお持ちの方はこうのかか)</li> </ul>	<ul> <li>EDPETをご利用係にあたり、「安全な通信を行うための証明書(金融行型証局自己署名証明書)」の設定が必要となります。下をワイトから証明書を取得し、設定を行ってください。 金融行び認知証明書の設備の</li> </ul>
→ #DD1E	公約個人認証証明書登録ツールについて
★ ACR_SC_REG     BBCT/Finance: Services Agency. The Japanese Dovertment. Copyright DBB	<ul> <li>●EDNETICT「公的個人認証証明書」を使用する方は、以下の証明書登録ツールを使用し、ご使用のコンピュー 対に証明書を登録して頂心姿妙なります。証明書の登録方法は「書類最出用端末要件」をご覧ください。 公的個人認知証明書登録ツール</li> </ul>
	□ <u>×−ジ先勝へ</u> 開US
	金融庁/Financial Services Agency, The Japanese Government Copyright ©金融庁 All Rights Reserved

### 3-2-4 証明書の設定-IC カードリーダの設定

公的個人認証を登録します。

利用者クライアントソフトで IC カードリーダを設定します。IC カードリーダをコン ピュータに接続し、IC カードをセットします。

**1** 《スタート》から「公的個人認証サービ ス」の「ユーティリティ」の「IC カードリー ダライタ設定」をクリックします。



[ICカードリーダライタ設定]が表示され ます。

### 2

使用する IC カードリーダライタの種類を 選択します。 ※ここでは USB 経由で接続する IC カードリー ダライタを選択します。

**3** <u>設定(</u>) (設定)をクリックします。

確認メッセージが表示されます。



隊 ICカードリーダライタ設定				
使用するICカードリーダライタの種類を選択して下さい。				
● PC/SC对応(P)				
ICカードリーダライタ名称( <u>R</u> )				
FLATTAN LIMITED Smartaccess FIRMING USB 0				
○ NMDA対応(N)				
ポート番号(0)				
USB101				



### 3-2-5 証明書の設定-証明書の確認

入手した証明書情報と、金融庁ホームページにて公開されている証明書情報とを照会し ます。

#### 1

取得した公的個人認証証明書登録ツー ルを右クリックし、ショートカットメニュー から「プロパティ」をクリックします。

JPKIR	━━ <b>闌く(<u>O)</u> 別のユーザーとして実行(<u>A</u>)…</b>	
ru	ウイルススキャン	
	個別に書庫を作成(K) 書庫を作成(A)	
	分割する(⊻)	
	[スタート] メニューにアイコンを追加Φ	
	送る( <u>N</u> )	•
	切り取り(T) コピー(©)	
	ショートカットの作成(S) 削除(D) タ前の変更(M)	
	プロパティ(B)	Ì

[(公的個人認証ツール名)のプロパ ティ]が表示されます。

### 2

「デジタル署名」タブをクリックします。

3

「署名の一覧」から署名を選択し、 詳細① (詳細)をクリックしま す。

FSA_Cert.exeのプロパティ ? 🗙
全般「バージョン情報」互換生「デジタル署名」なキュリティ「概要」
署名の一覧
Financial Service 利用110] 2008年1月7日 18:55
[詳細( <u>D</u> )
OK キャンセル 適用(A)

[デジタル署名の詳細]が表示されます。

#### 4

「全般」タブの 証明書の表示() (証明 書の表示)をクリックします。



[証明書]が表示されます。

### 5

「証明のパス」タブをクリックします。

#### 6

一覧から「FSA Root CA」をクリックしま す。

#### 7

■ 証明書の表示 ② (証明書の表示)を クリックします。

[証明書]が表示されます。

#### 8

「詳細」タブをクリックします。

#### 9

一覧から「拇印」をクリックします。

拇印の内容について、金融庁のホーム ページの「金融庁認証局について」にあ る「金融庁認証局の自己署名証明書の フィンガープリント」の内容と照会し確認 してください。

全般 詳細 証明のパス	
三正相用のパス(P)	_
ESA Root CA	
証明書の表示──	
証明書の状態(S):	-
この証明書は問題ありません。	-
ОК	5



#### 3-2-6 証明書の設定-証明書の登録

IC カードリーダをコンピュータに接続し、IC カードの内容を登録します。



## JPKIRegistCe rt.exe

2 公的個人認証証明書登録ツールをダブ ルクリックします。

[**ログイン**]が表示されます。

**3** 《パスワード》を入力し、 OK (OK)をクリックしま す。

証明書の内容がインポートされます。

ログイン
 公的個人認証サービスのパスワードを入力して下さい。
 パスワード(P) \*\*\*\*\*
 OK \$+>>セル

**4** InternetExplorer を起動し、証明書がインポートされたことを確認します。 メニューバーの《ツール》から《インター ネットオプション》をクリックします。



[インターネット オプション]が表示され ます。

### 5

《コンテンツ》タブをクリックします。

**6** 証明書©)… (証明書)をクリックし ます。

シターネット オブション 🕐 🗙
全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 詳続 プログラム 詳細設定
コンテンツ アドバイザ
証明書 証明書を使用して個人、証明機関、発行元を確認します。 SSL 状態のクリア(S) 証明書(C) 発行元(B)
個人情報
オートコンプリートは、以前の設定内容を保存 オートコンプリート(型)…
Microsoft プロファイル アシスタントは個人情     個人情報(R) 報を保存します。

[証明書]が表示されます。

**7** インポートされた証明書をダブルクリッ クします。

証明書	? 🛛
目的(W):         くすべて>           個人         ほかの人         中間証明機関         信頼されたルート証明機関         信頼された発行元         信頼されない	▼ ¥行元
<u>発行光 発行者 有効構築 フロ</u> ンドリ名 国20071116142517A the Governor of Chib 2010/11/	
インボート型 エクスポート(型) 削除(型) (記)	純細設定( <u>A)</u>
	表示( <u>)</u>
C	閉じる( <u>C</u> )

証明書の詳細画面が表示されます。

**8** インポートされた証明書内容を確認しま す。

証明書		? 🗙		
全般 詳細 証明のパス				
表示(S): <すべて>	×			
フィールド	値	^		
□ バージョン	V3			
: 三シリアル番号	00 ad			
📑 署名アルゴリズム	sha1RSA			
2 発行者	the Governor of Chiba-ken, C			
三有効期間の開始	2007年11月16日 14:24:35			
一有効期間の終了	2010年11月15日 23:59:59			
= サブジェクト	20071116142517A, Chiba-shi,	×		
CN - 200711161425174				
L = Chiba-shi				
L = Chiba-ken C = JP				
0 - 01				
プロパティの編集(症)) ファイルにコピー(型)				
		ОК		

## 3-3 商業登記

EDINET で書類提出する際に、商業登記の署名を付与して提出する場合の事前準備について説明します。

#### 3-2-1 事前準備

電子証明書を事前に入手してください。

すでに入手済みの方は、証明書の期限切れや失効等がないか、確認してください。 ※証明書が失効等している場合、書類に署名を付与する操作の際にエラーとなります。

#### 3-2-2 証明書の登録

証明書を登録します。



[証明書]が表示されます。

**4** <u>インボートゆ...</u>(インポート)をクリックし ます。



[証明書のインポート ウィザード]が表示されます。





6	
参照( <u>R</u> )	(参照)をクリックし、証明
書の保存先を	指定します。



証明書のインボート ウィザード
インボートする証明書ファイル インボートするファイルを指定してください。
7ァイル名(E): D:¥EDINET/用試明書す12 を照(B)
注意: 次の形式を使うと 1 つのファイルに複数の証明書を保管できます: Personal Information Evolutione – PKCS #12 (PEX P12)
Cryptographic Message Syntax Standard- PKCS #7 証明書 (P7B)
Microsoft シリアル化された証明書ストア(SST)
< 戻る(B) 次へ(W) キャンセル

8

証明書のパスワードの指定が必要な場 合は、パスワード入力画面が表示され ます。「パスワード」を入力し、 次へ(№)> (次へ)をクリックします。 ※表示されない場合は操作9に進みます。

明書のインボート ウィザード
パスワード セキュリティを維持するために、秘密キーはパスワードで保護されていました。
秘密キーのパスワードを入力してください。
パスワード( <u>P):</u>  ****
□ 秘密キーの保護を強力にする(E) このオブションを有効にすると、秘密キーがアプリケーションで使われるたびに確認を求められます。
□このキーをエクスポート可能にする(M) キーのバックアップやトランスポートを可能にします。
< 戻る(B) (次へ(W) > キャンセル





<b>諸妻ストア</b> 証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。 Windows (ご証明書ストアを自動的)ご選択させるか、証明書の場所を指定することができます。 ● 証明書の種類((基づいて、自動的)(ご証明書ストアを選択する( <u>U</u> ) ● 証明書をすべて)次のストア(ご配置する( <u>P</u> ) 言証明書ストア: ● 参照( <u>P</u> )	のインポート ウィ	ザード			
Windows (ご証明書ストアを自動的にご選択させるか、証明書の場所を指定することができます。 <ul> <li>● 証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(①)</li> <li>● 証明書をすべて)次のストア(ご配置する(P)</li> <li>証明書ストア:</li> <li>● 証明書ストア:</li> </ul>	<b>書ストア</b> 証明書ストアは、副	正明書が保管されるシステ	ム上の領域です。		
<ul> <li>● 証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)</li> <li>● 証明書をすべて次のストアに配置する(P)</li> <li>■ 証明書ストア:</li> <li>● 感((P).</li> </ul>	Windows (J語明	書ストアを自動的に選択さ	せるか、証明書の場所	を指定することがで	できます。
●証明書をすべて次のストアに配置する(P) 証明書ストア: 参照(R).	⊙証明書の	類に基づいて、自動的に	証明書ストアを選択す	3 <u>0</u> )	
証明書ストア: 参照 (g).	○証明書をす	べて次のストアに配置する	( <u>P</u> )		
参照(1).	証明書ス	ト <i>Ͳ</i> :			
					参照( <u>R</u> )
			( 戻る(B)	) (次へ (N) )	***/#

#### 10

けてください。

証明書のインポートが完了します。 <u>
完了</u>(完了)をクリックします。



[セキュリティ警告]が表示されます。



セキュリテ・	·警告
	発行者が次であると主張する証明機関(CA)から証明書をインストールしようとしています:
	Registrar of Tokyo Legal Affairs Bureau
	証明書が実際に"Registrar of Tokyo Legal Affairs Bureau"からのものであるかどうかを検証で考ません。"Registrar of Tokyo Legal Affairs Bureau" (ご連絡して発行者を確認する必要があります。次の番号はこの過程で役立ちます:
	損印 (sha1): 4A15C02E 13D0C772 9744121C C45D1D1A 9493EF4E
	警告: このルート証明書をインストールすると、この CA によって発行された証明書は自動的に信頼されます。確認されていない 相印付きの証明書をインストールすることは、セキュリティ上、危険です。 はいい をクリックすると、この危険を認識したことに なります。
	この証明書をインストールしますか?

確認メッセージが表示されます。





[**証明書**] が表示されます。 設定された証明書を確認します。

#### 13

《個人》タブをクリックし、一覧に証明書 が設定されていることを確認します。

#### 14

証明書の内容を確認します。証明書名 をダブルクリックします。

証明書の詳細画面が表示されます。

証明書	? 🛛
目的(い): 個人 ほかの人 中間証明無関 信頼されたルート証明機関 信頼された発行元 信頼された 発行生 発行者 有効期限 72以内名 回0402010000008-nin Registrar of Tokyo Le 2009/04/ 0402010000008 :	2()発行元]
インボートの     エクスボートの     可除化       「証明書の目台」	詳細設定( <u>A</u> )
	表示( <u>)</u> 閉じる( <u>C</u> )

<b>証明書</b> ?Ⅹ
全般 詳細 証明のパス
副時書の情報
この証明書の目的に
<ul> <li>12392.100300.1.3.98</li> <li>すべてのアプリケーション ポリシー</li> </ul>
<b>発行先</b> : 0402010000008-ninshoutarou
<b>発行者</b> : Registrar of Tokyo Legal Affairs Bureau
有効期間 2007/01/09 から 2009/04/09
🌮 この証明書に対応する秘密キーを持っています。
発行者のステートメント(S)
ОК

**15** インポートされた証明書内容を確認しま す。 《詳細》タブをクリックします。

16

確認を終了します。 OK (OK)をクリックします。



17
設定を終了します。
<u>閉じる()</u> (閉じる)をクリックしま
す。

証明書	? 🛛
目的(い):         くすべて)           個人         ほかの人         中間調証明機関         信頼されたルート証明機関         信頼された発行元         信頼された発行元	▼
発行先 発行者 有効期限 フレンドリ名 国 0402010000008-nin Registrar of Tokyo Le 2009/04/ 0402010000008	
<b>インボート①</b> 「カスポート(E)」	
証明書の目的	表示①
	閉じる(0)

[**インターネット オプション**] が表示さ れます。

18	
OK	(OK)をクリックします。

インターネット	・オブション ? 🔀
全般してき	コリティ「プライバシー」コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定
עעדעב-	リアドバイザー
S 🔿	成前リステムを使用すると、とのコンビュータから表示してるインターネット の内容を制御できます。
	有効にする(E) 設定(T)
証明書	
	SSL 状態のクリア(S) 証明書(C) 発行元(B)
-個人情報	<b>R</b>
	オートコンプリートは、以前の設定内容を保存 し、入力する内容に一致するものを提示しま オートコンプリート(U)…
	đ.
	Microsoft プロファイル アシスタントは個人情 個人情報(E)
	OK キャンセル 適用(A)